

## ◇本時の目標

既習の漢字を振り返り、成り立ちに興味をもつ。

## ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

## オクリンク

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 漢字の由来について考える。 ○漢字はどこからきたのか考えましょう。 中国からきた。漢字から平仮名やカタカナを作った。	
展開	2 絵から漢字を作ってみよう。	★ミライシード「オクリンク」で、作った漢字を送る。
まとめ	○作った漢字を紹介し合い、評価していく。	★ミライシード「オクリンク」を使って紹介しあう。



## ◇授業のポイント

絵を見て、自分だったらどんな漢字を作るのか、考えることで、これからの漢字学習に興味をもって意欲的に取り組むことができるようにする。

## ◇授業を振り返って

絵から、子供たちは、いろいろな漢字を楽しく作ることができた。ネット回線の不具合や充電不足で、オクリンクが使えない児童は紙に書いたので、一斉に作り上げた漢字を見ることができ、時間が有効に活用できた。

## ◇本時の目標

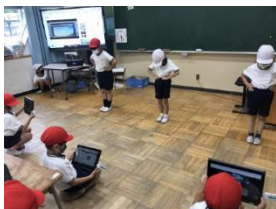
自分の踊りを客観的に見ることで、自分の踊りをよりよくするためにはどうすればよいか考えることができる。

## ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

オクリンク

拡大提示装置

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 体育学習発表会の踊りの全体練習の動画をクラスで見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の踊りをもっとよくするためにはどうしたらよいか考えよう。</div>	★自分たちの踊りの練習動画を電子黒板で見る。
展開	2 友達と踊りの動画を録り合う。 3 自分の動画を見たり友達と見合ったりして、どこを改善すれば良いか話し合う。	★ オクリンクの録画機能で友達と撮影仕合い、録画した動画を見て踊りを確認する。
まとめ	4 本時を振り返り、次時の全体練習での、自分へのあてを立てる。	



## ◇授業のポイント

普段の踊りの練習では、踊ることに一生懸命で自分の踊りの踊れている部分や踊れていない部分を分かっていない児童が多い。そこで、本時では、踊っている様子を録画することで自分の踊りを客観的に見る機会を作った。

## ◇授業を振り返って

実際に自分の踊っている動画を見ることで、お客さんからどのように見えるか確認することができた。実際に動画を見ながら踊る児童が多く、「もっと手を伸ばして踊ろう。」「ここは上手く踊れている。」等の声が聞こえた。また、友達同士で、アドバイスをし合う姿も見られた。

## B1：個に応じる学習

1年

## 道徳 はしのうえのおおかみ

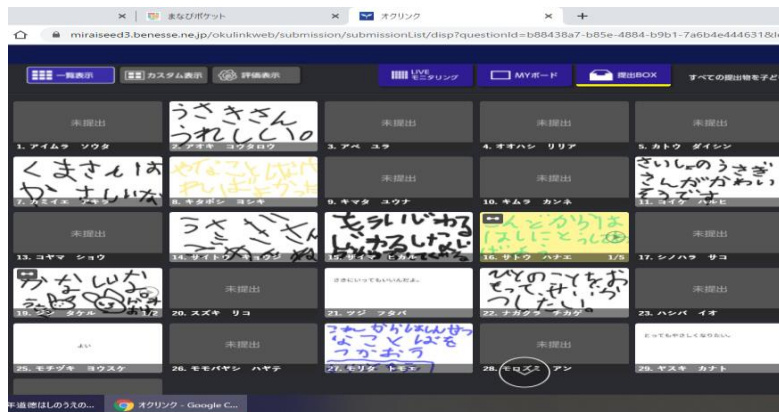
### ◇本時の目標

相手のことを思いやり、優しく接しようとする実践意欲とする実践意欲と態度を育てる。

### ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

#### オクリンク

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 本時の主題に関わる問題意識をもつ。 ○みんなは、つい、意地悪をしてしまったことはありませんか。 2 課題をつかむ。 親切、思いやりについて考えましょう。	
展開	2 登場人物の心情を捉える。 ◎最初と最後の「えっへん、へん。」とは、どう違うでしょう。	
終末	○この後、おおかみさんが自分だったらどのように変わっていきたいですか。続きを考えましょう。	★ミライシード「オクリンク」を使って紹介しあう。



### ◇授業のポイント

終末のおおかみは、どうなったかを予想させる時、オクリンクを使って一斉にみんなに公開することで、それぞれの考えを見合うことができる。

### ◇授業を振り返って

一斉に見合うことで、友達の考えをみんなに公開することができた。また、自分の意見を言葉で上手に表現することができなかった児童には、友達の書いた意見が参考になり役立った。

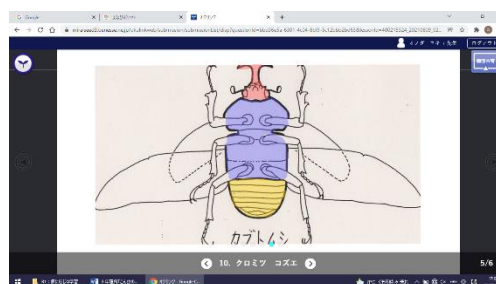
## ◇本時の目標

成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解する。

## ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

## オクリンク

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 前回学習した昆虫の体のつくりを確認する。 虫の体のつくりを調べよう。	
展開	2 様々な虫の体のつくりを調べる。 オクリンク上に提示された虫の体を色分けし、体のつくりを調べる。	★色分けしていくことで、体のつくりを確認する。また、頭、胸、腹の3つに分けられない虫もいることに気付けるようにする。
まとめ	3 こん虫とこん虫ではない虫の2グループに分ける。	★体のつくりの違いから、こん虫とこん虫ではない虫に分けられることを知り、その2つのグループに分ける。



## ◇授業のポイント

予め、オクリンク上に様々な虫のプリント（色分けしやすく、体のつくりが明確に分かるもの）を送信しておく。色分けを間違えた場合、タブレット上であればすぐに訂正ができる点や、その後のグループ分け（こん虫とそうではない虫）も、画面上で素早く分かりやすく仕分けができる点が利点である。

## ◇授業を振り返って

楽しく色分けをしながら、虫の体のつくりについて学習することができた。一人一人タブレット上で、頭、胸、腹を意識しながら取り組むことができた。友達がどのように色分けしたのか、グループ分けをしたのかを全体で提示し、確認できたのもよかった。

## ◇本時の目標

拍の流れにのって、歌詞唱や階名唱で歌う。

## ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

クラスルーム

PDF（教科書楽譜）

PDF（階名楽譜）

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 範唱を聴く。 曲の感じや歌詞や楽譜を見て発見したことを発表する。	★大型画面に歌詞や楽譜を映し、共有する。
		拍の流れにのって歌おう。
展開	2 歌詞唱で「冬げしき」を歌う。 ・通して歌う。 ・4段のうち2段を選んで歌う。 ・選ばなかった2段を歌う。 階名唱で歌う。 ・2度通して歌う。 ・音抜きゲームで歌う。	★クラスルーム内に投稿しておいた PDF 化した楽譜を使って歌詞唱で歌う。  ★階名を記入した PDF の楽譜を使って、階名唱で歌う。
まとめ	3 歌詞唱で通して歌う。	★クラスルーム内に投稿しておいた PDF 化した楽譜を使って歌詞唱で歌う。

冬げしき

文部省唱歌 西村嘉太郎 編曲

♩=100 (♩)

1 さ ぎ り き ゆ る み な と え の  
2 か ら す な き て き に た か く  
3 あ ら し ふ き て く も は お ち

ふ ね に し ろ し あ さ の し も

冬げしき

文部省唱歌 西村嘉太郎 編曲

♩=100 (♩)

ファラドド シトラ ソラソミド

ドミソラソファラソファミファ

## ◇授業のポイント

PDF 化した楽譜をクラスルームに投稿し、ペーパーレスで授業が行えるようにした。階名にも慣れる機会とし音抜きゲームを通して階名に親しむ時間になった。

## ◇授業を振り返って

階名唱で歌う事が気軽にでき、意欲的に児童は歌っていた。中学校でも階名唱をしている場面があり、小中連携の観点からも階名に慣れていく事が大切であり歌唱だけでなく他領域でも活かしていく。

## B1：個に応じる学習

6年

## 理科 生物どうしの関わり

### ◇本時の目標

生物の間には、食う食われるという関係があることを理解する。

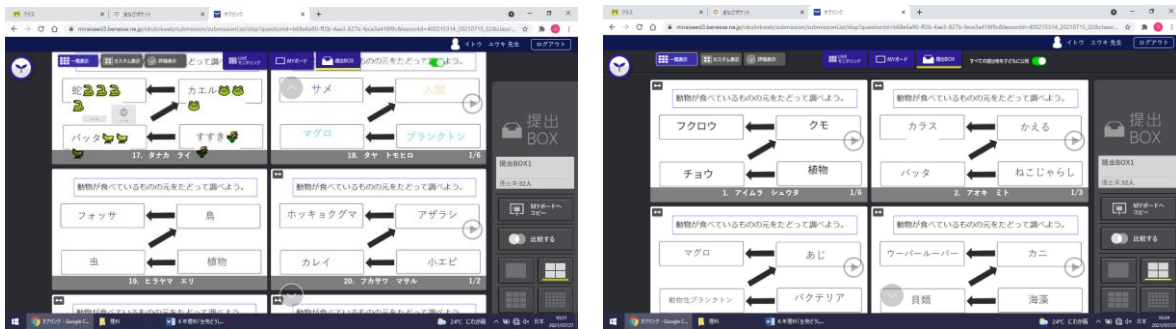
### ◇主に活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等

オクリンク

インターネット

拡大提示装置

	学習活動	★ICT 活用場面
導入	1 人の食べ物の元を順にたどると、食べている生物が他の生物を食べていて、つながっていることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">動物が食べているものの、元をたどってみよう。</div>	★拡大提示装置に給食の写真を映し出し、元を順にたどっていく。
展開	2 動物をいくつか決めて、その動物が食べているものを本やインターネットなどで調べ、食べものの元までたどる。	★調べた結果をオクリンクに用意したワークシートに書き入れていく。
まとめ	3 自分で調べたことを発表し、友達の調べたことを聞く。	★タブレット上で画面共有をし、友達のワークシートが手元で見れるようにする。



### ◇授業のポイント

「どんな動物でも、他の生物を食べて生きている」ことが分かり、たくさんの例を確認できるように①調べる活動に注力するための定型のワークシート、②ワークシートを複数枚作成しつなげられる工夫を考え「オクリンク」を使用した。

### ◇授業を振り返って

複数枚つなげられる「オクリンク」の良さを生かし、たくさんの例を作ることはできた。友達が作成しているワークシートを作業中に確認できるよう、実態に応じて共有可にする工夫も可能である。